

ふるさと図書×愛知県×埼玉県



『しーしずかに』 かかずゆみ さく/市原 淳 え/定価1,100円 (税込)/金の星社

耳を澄ますと感じる鼓動や風の存在に気づかせてくれる優しさあふれる一冊。著者のかかずさんは、ドラえもののしずかちゃんの声を担当。「私がこのタイトルの絵本を出すことでみんながぷぷっと笑ってくれるかなって。しずかになって命令口調のようにも思えるけど、“しずかにしてごらん？聞こえるよ”という意味を込めたタイトルになっています」（かかずさん）「小さな子でも主人公がわかりやすいように、また、しずかにという空気感を感じられるような余白を意識しています。」（市原さん）そんな穏やかな空気感の物語の後半に登場し、場面を転換させるアクションを与える“かわいい生き物”にも注目です！親子で触れ合いながら、幸せな時間を紡いでくれる、あたたかな絵本です。

「しーしずかに」のヒミツ

かかずさんと市原さんに聞いちゃいました！

Q：お二人と一緒に絵本を作った経緯やきっかけは？

伝えたい内容を絵にしてくれるイラストレーターさんを探していました。絵の雰囲気とにじみ出るお人柄から市原さんをお願いしました！

にぎやかな絵本が多い中「しずかに」という今までの絵本にない部分と、ふれあいができる内容の良さに惹かれ引き受けました！

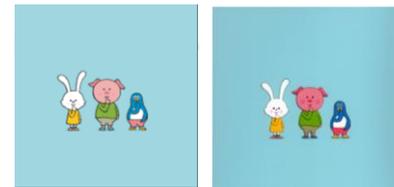
Q：最初からこの動物たちに決まっていたの？

えんぴつでラフを描きながら、かかずさんと相談して決めました。キャラクターの設定は自分の中にはいろいろありますが、皆さんに想像して楽しんでもらいたいと思っています。ペンギンが浮き輪をしているのには、想像力が膨らんで楽しめるかな。という意図もあります！

Q：最後に出てくる女の子はもしかして・・・？

ちょっとだけ意識してみました(笑)

知る人ぞ知るで(笑) ピンクのワンピースとおさげで想像してもらえるとすごいですよね！くすっとしてもらえたら嬉しいです！



上：幻の別タッチのイラスト！

下：推敲を重ね絵本ができていく様子



市原 淳 (いちはらじゅん) さん

愛知県常滑市出身。大阪芸術大学卒業後イラストレーターに。アニメ化され世界約100カ国で放送された絵本『Poppets Town (ポペットタウン)』や赤ちゃん学絵本『もいもい』も手がける。



かかずゆみ さん

埼玉県入間市出身。ベビーマッサージ タッチケアセラピストであり、声優であり、絵本作家。アニメ『ドラえもん』源 静香 (しずかちゃん) 役をはじめ多方面でご活躍中。



インタビュー動画は
こちらから！



あいちけん 愛知県って??

日本列島の中央部にあり、日本の都道府県の中でも4番目に人口の多い愛知県。政令指定都市の名古屋市があったり国際空港もあることから都会のイメージもありますが、市原さんの生まれ育った常滑市は海が近く、幼少期には竹藪で竹取もできたほどのどかな地域だそうです。陶芸が盛んな地域で、学校には一人一台のろくろや陶芸用の釜もあり、その経験が市原さんの”もの作り”の基礎となっているそうです。戦国時代には多くの武将が活躍した地域で、金のしゃちほこで有名な”名古屋城”や、国宝の”犬山城”など歴史的建造物も多く存在します。県内各地で古くから味噌や醤油などを作る醸造文化が発展。それらを生かした郷土料理も多くあるんですよ！



桜と名古屋城



常滑やきもの散歩道

さいたまけん 埼玉県って??

さくらさくみらいの園が2園ある埼玉県！かかずさんの出身地の埼玉県入間市は県南西部に位置し、日本五大銘茶の一つと言われる狭山茶の主産地です。幼少期は山で木登りもしていたほど、自然が豊かな地域だそうです。お隣の飯能市にある北欧をテーマにした”メッツァビレッジ”や、”トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園”は四季折々の自然を体験できおススメだそうです！埼玉県は海には面していませんが、荒川・利根川の二大河川や、長瀬、飯能河原などに代表される清流など、水辺空間に恵まれており、古くから水との関わりが強く、川を祀る行祭事が県内各地で行われています。そんな埼玉県は実は自転車発祥の地、通過発祥の地、そして成人式発祥の地とも言われているそうです。



岩畳のある嵐山渓谷



北欧の雰囲気のある公園

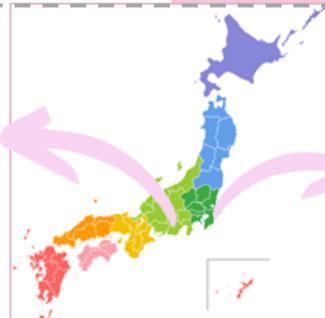


きんぴかのしゃちほこ！

みそをつかった
りょうりがゆうめい！



あいちけん



さいたまけん



おちやがゆうめい！



ねぎがたくさんとれるよ！